Fika! フィーカ

三菱電機ビルソリューションズ株式会社
2025 SUMMER | Vol.14

進化する大阪
食と水の都の多彩な顔

道頓堀川　訪れた人が必ず立ち寄る戎橋からの眺め。インパクト抜群のグリコのサインは1935年に初めて設置され、現在のものは2014年に完成した６代目。道頓堀川ではリバークルーズも行われている

進化する大阪
食と水の都の多彩な顔

「食の都」「水の都」として、古くから天下に知られてきた大阪は今、「EXPO 2025 大阪・関西万博」の舞台としても注目されています。インバウンドで賑わう道頓堀周辺から、レトロな風情が漂う中之島・北浜、再開発で様変わりする梅田まで、進化する大阪の多彩な魅力を探りました。

エネルギッシュな大阪の象徴 食とエンタメのまち、道頓堀へ

いかにも大阪らしさを感じさせる繁華街が、強烈な個性を放つ道頓堀です。土木家の安井道頓が慶長17（1612）年、私財をなげうって開発。その後、周辺に芝居小屋や茶屋が立ち並び、娯楽の中心地として栄えてきました。近年はインバウンドに大人気で、さまざまな国の観光客が絶え間なく訪れるホットスポットになっています。

たこせん（上左）　行列必至の人気店、「たこ焼道楽わなか」の「たこせん」。パリッとしたえびせんべいと、トロッとしたたこ焼きの食感を楽しめる（撮影協力／たこ焼道楽わなか）
生クリームフォンデュ（上中）　生地作りから焼く工程まですべて手づくり。焼き立てふわふわのベビーカステラに生クリームをディップ！ 食べ歩きで人気の新感覚スイーツ（撮影協力／IKKI KASUTEIRA心斎橋店）
くいだおれ太郎（右）　もともと飲食店ビル「大阪名物くいだおれ」の前に立っていた看板人形。今は複合エンターテインメント施設の「中座くいだおれビル」の前に立つ

串かつだるま道頓堀店　道頓堀商店会会長の上山さんが経営する有名店で、迫力満点の立体看板はご自身がモデル。串かつ9本にどて焼きなどがつくセットがお得。上山さんは道頓堀愛にあふれ、「世界で一番有名な日本の商店街やろね」と誇らしげに語る

道頓堀川万灯祭　風情ある提灯の灯りに加えて、川面に映り込む夜景を満喫できる。「2025大阪・関西万博」にちなんで今年は2025灯の献灯で、7月1日～8月31日に開催（写真提供／いっとこミナミ実行委員会）

道頓堀のまち並み　道頓堀川に並行する道筋に、「目立ってなんぼ！」というように、ド派手な看板が立ち並ぶ。大阪の魅力が全開の繁華街

他にはない道頓堀の大きな魅力が、派手な看板やオブジェ。ビルの壁面を覆うグリコの巨大なサイン、カニやタコ、餃子といったダイナミックな立体型の看板は見るだけでもワクワクします。鐘や太鼓を打ち鳴らす「くいだおれ太郎」を見つけたら、一緒に記念写真を撮りたい気持ちを抑えられなくなりそうです。

とにかくお客を喜ばせようと、まちの人たちが知恵を絞っているようで、どの店にも興味をひかれ、入ってみたいという気にさせられます。

「道頓堀は、おいしいもんを食べて楽しく遊ぶ、食とエンターテインメントのまちです」と話すのは道頓堀商店会会長の上山勝也（うえやまかつや）さん。なぜ、これほどサービス精神にあふれているのか尋ねると、「おもろいことをするのが大阪商人なんですよ。こうしたらおもろそうやな、と思ったら素直に表現する。これが大阪商人の心意気です。道頓堀に来たら、一軒一軒回って、派手な看板を見るも良し、おいしいもんを食べるも良し、自分がおもろいと感じることを発見してほしい」と上山さん。

道頓堀の周辺は「食い倒れのまち大阪」の名物を味わえる店がたくさんあります。「串かつだるま道頓堀店」の串かつは食べやすい大きさで、きめの細かい衣がサクッとした食感を生み出しています。ほど良い甘辛さのソースも人気の秘密です。外せないのが「粉もん」で、なかでもぜひ味わいたいのがたこ焼きです。有名店の一つが、道頓堀からほど近い場所にある「たこ焼道楽わなか道頓堀店」。たこ焼きをせんべいで挟んだ、大阪ならではのユニークな粉もんおやつ「たこせん」も人気の高いメニューです。

若者が集まるアメリカ村のそばにある「IKKI KASUTEIRA 心斎橋店」は、見た目がちょっぴりたこ焼きのようなベビーカステラの店。焼きたてに生クリームを添えた意外なコラボを楽しめます。

道頓堀は派手な看板と食べもののだけのまちではありません。さまざまなイベントも開催していて、なかでも夏の風物詩となっているのが「道頓堀川万灯祭（どうとんぼりがわまんとうさい）」です。川沿い約800mに毎年1600～2000灯余りの提灯が吊るされ、川面を幻想的に照らします。

法善寺（上）「水掛不動尊」と呼ばれ信仰を集める法善寺の西向不動明王。全身が鮮やかな緑色をした苔で覆われている
（中）「水掛不動尊さんは、もともと右手に剣、左手に縄を持ってはって、剣で私たちの悪い心を切り、縄で私たちを救ってくださる、そのようなお方です。何でも願いごとを聞いてくれはります。いつでもお参りください」と副住職の神田さん
（下）石畳を歩く靴音が響く「法善寺横丁」。「包丁一本 晒にまいて」で始まる有名な歌謡曲『月の法善寺横町』で歌われたことでも知られる

難波八阪神社　パクッと口を開けた造形が衝撃的な「獅子殿」（写真）は、本殿と共に1974年に完成した。難波の人がビックリするような神社のシンボルを作ろう、という思いから作られたという。口の中には舞台があり、神楽や獅子舞なども奉納される（撮影協力／難波八阪神社）

個性豊かな神社仏閣 見逃せないパワースポット

道頓堀のすぐ近くにありながら、一転して、落ち着いた佇まいの心安らぐ場所があります。幅約3m、長さ約80mの風情ある石畳の路地が続く「法善寺横丁」です。

「浄土宗天龍山法善寺」の副住職、神田眞英さんが穏やかな表情で語ります。「昔、この難波は目の前が海で、地名の通り海が荒れる場所やったそうで、海が静まるようにと当時の住職が夢のお告げで京都の宇治から法善寺をここに移しはったんです。ご本尊としてお祀りしている阿弥陀如来さまは今もこの界隈を守ってくださっています」

法善寺横丁の両脇には、品格を感じさせる割烹やバー、お好み焼き屋、串かつ屋などの飲食店がズラリと立ち並んでいます。もともと法善寺の境内に参拝客向けの露店が並んでいたそうです。太平洋戦争の空襲で焼けたのち、盛り場として復興し、今のような姿になったといいます。

道頓堀や法善寺から徒歩圏内にあり、ぜひ立ち寄りたいのが「難波八阪神社」です。何よりも目を引くのは、巨大な獅子が大きく口を開けた「獅子殿」。邪気を飲み込み、幸運を招いてくれるとされ、近年は海外からも参拝客が絶えません。道頓堀近辺にある見逃せないパワースポットです。

レトロな情緒が漂う水辺のまち 中之島・北浜を楽しむ

大阪には、いくつもの顔があります。国内外から観光客が集う道頓堀界隈とは打って変わって、商いのまちとして発展してきたのが中之島・北浜です。堂島川と土佐堀川という二つの川に挟まれたエリアで、水辺近くに歴史ある建物が残されています。中之島・北浜を代表するレトロ建築の一つが「大阪市中央公会堂」。19世紀にヨーロッパで生まれたネオ・ルネ

水辺の風景　中之島沿いに流れる土佐堀川を水上バスがゆったりと進む。中央に見られるレトロモダンな建物は「大阪市中央公会堂」で、100年以上も前の1918年に竣工した。写真左側の建物は大阪市役所

大阪中之島美術館　大阪のビジネスの中心地であり、「水の都」の象徴でもある中之島に開館した美術館。大阪ゆかりの作家の作品も多数収蔵。前に立つ作品は、巨大猫の彫刻ヤノベケンジ「SHIP'S CAT（Muse）」2021年

NORTHSHORE北浜店（上）さわやかな川風が吹くテラス席に座りたいカフェ。新鮮な野菜がたっぷりの健康的なメニューも高い人気を誇っている

大阪取引所（左）1935年に建てられた旧大阪証券取引所の一部を継承した。建物の正面には大阪証券取引所を開設した、薩摩藩出身の五代友厚の銅像が立っている

サンス様式の建築で、赤いレンガと白い御影石を組み合わせた美しい外観が目を引きます。西日本で初めて、公会堂建築物として国の重要文化財に指定されました。

難波橋（なにわばし）の近くにある「大阪取引所」も、レトロ建築で有名です。旧大阪証券ビル市場館で、優美な円筒形のデザインのエントランスホールや、上品な色合いのステンドグラスは一見の価値があります。

現代的な建築としては、2022年に開館した「大阪中之島美術館」があります。シンプルでモダンな黒い外観で、内部は開放感あふれるワイドな吹き抜けを取り入れています。19世紀後半から現代まで国内外の近代、現代の美術とデザイン作品約6600点を所蔵し、展覧会も精力的に開催しています。

心休まる水辺の風景も、中之島・北浜の魅力です。土佐堀川に面したカフェ「NORTHSHORE北浜店」では、気持ちのいいオープンテラス席を用意。ゆったり流れる川を眺めながら、ランチやティータイムを楽しめ、クルーズ船が気持ち良さそうに川面を進む様子も見られます。

取材・文／田中浩之　撮影（表紙・本文2～8頁）／香川康之

グランフロント大阪　JR大阪駅と直結する複合商業施設。（上）「ナレッジキャピタル」（北館）は、「OMOSHIROI」をテーマに学んで遊べる知的交流空間。7層吹き抜けのダイナミックな空間を利用して、さまざまなイベントや情報発信を行っている（撮影協力／グランフロント大阪）

水都大阪の夜景　「梅田スカイビル」空中庭園展望台からの夜景。大阪市街を流れる淀川の様子（写真）や梅田のビル群、繁華街を眼下に眺めることができる（撮影協力／梅田スカイビル）

うめきた公園　（左）サウスパークにはふかふかとした青々しい芝生を楽しめる芝生広場が広がる。（上）「うめきた温泉 蓮 Wellbeing Park」は2025年3月に開業した「グラングリーン大阪 南館」にある健康増進施設。写真は「屋外温水インフィニティプール」（写真提供：グラングリーン大阪開発事業者）

大規模再開発の波に乗って変貌する「うめきた」

道頓堀や難波がある一帯は「ミナミ」とも呼ばれ、これに対して「キタ」と称されるのが梅田周辺です。ＪＲ大阪駅もあり、大阪の中心地として栄えてきました。この梅田の北側、通称「うめきた」が、近年、大規模再開発によって大きく変わり続けています。

再開発の先陣を切ったのは、２０１３年に西日本最大級の複合商業施設としてオープンした「グランフロント大阪」です。大阪駅に直結しており、アクセスは抜群。レストランやカフェ、ショップなど、約２６０店舗が「北館」「南館」に集結しています。駅北口正面には水都大阪をイメージした「うめきた広場」があり、ショッピング中に休憩し、ひと息つくことができます。

さらに、かつて大阪駅前にあった広大な貨物ヤード跡地が再開発され、２０２４年９月に「自然と都市の融合」をテーマに掲げる「グラングリーン大阪」が先行まちびらきとなりました。

なかでも「うめきた公園」は、約４万５０００㎡※の面積があり、ターミナル駅に直結する都市型公園としては世界最大級の規模を誇ります。大都市の一等地に、これほど広いみどり豊かな公園が生まれたのは大きな驚きです。市民の憩いの場となっており、２０２５年３月には、サウスパークに隣接する「グラングリーン大阪 南館」がグランドオープン。ショップやレストラン、ホテル、フードホール、温泉などさまざまな施設が入り、大阪の新しい人気スポットになっています。

その「グラングリーン大阪」の背後に立っているのが、40階建ての超高層ビル「梅田スカイビル」です。地上１７３ｍの高さにある「空中庭園展望台」からの眺望はまさに絶景。水都大阪の象徴である淀川が輝くネオンの谷間をゆったり流れる様子や、眼下の梅田周辺から中之島・北浜、道頓堀界隈を含む市内一帯を眺めることができます。

多彩な顔があり、進化を続ける大阪。開催中の「EXPO 2025 大阪・関西万博」の観覧と併せて訪れてみてはいかがでしょうか。

※2027年春予定の全面開業時の総面積（現在はサウスパーク（全部）とノースパーク（一部）が開園）

三菱電機ビルソリューションズ

関西支社 北支店

大阪市北区芝田1-4-8（北阪急ビル内）

「大阪・関西万博」会場においても安全・安心・快適にご利用いただけるように尽力してまいります

支店長
鈴木（すずき） 利明（としあき）

西は「大阪・関西万博」が開催されている此花区、東は京都府との府境まで、大阪府内の約３分の１を担当しています。メインは大阪の中心地である梅田で、駅に隣接する商業施設や百貨店など、企業規模の大きなお客さまが多いのが特徴です。「大阪・関西万博」会場では三菱未来館をはじめ、国内外のパビリオンなどにエレベーター15台、エスカレーター２台、空調設備を納入させていただいています。1970年の大阪万博に続いて、今回も当支店が会場設備の保守担当となり、とても光栄です。担当エリアのお客さまをはじめ万博のご来場者にも安全・安心・快適にご利用いただけるように尽力してまいります。

私のイチオシ

上品な甘さの粒あんを薄皮で包んだ老舗店の「きんつば」

FS課
中川（なかがわ） 小春（こはる）

昭和５（1930）年創業の老舗和菓子屋さん、「出入橋きんつば屋」を紹介します。初めて食べたのは入社１年目、中之島営業所に配属されたときでした。店が営業所の近くにあり、上司や先輩方がよく買ってきてくれて、思い出の和菓子の一つになりました。四角く切った粒あんを薄い皮で包んでいて食感がまさに絶妙。あんこが甘過ぎないところも気に入っています。最初に口にしてから20数年経ちましたが、変わらない素朴な味わいがうれしいです。

※無添加のため賞味期限は当日中
（撮影協力／出入橋きんつば屋）

「EXPO 2025大阪・関西万博」

開催期間：2025年4月13日～10月13日

三菱グループパビリオンのご紹介
「三菱未来館」

いのち輝く地球を未来に繋ぐ
深海から宇宙まで、迫力満点のナビゲート

パビリオン　生命・地球・人間のつながりを重なり合うデザインで表現。「地上に浮かぶマザーシップ」をイメージしている

ナナ（右）とビビ（左）　三菱未来館のオリジナルキャラクター。パープルのナナとイエローのビビが、ツアーナビゲートを担当する

三菱グループは「大阪・関西万博」に、パビリオン「三菱未来館」を出展しています。「いのち輝く地球を未来に繋ぐ」をコンセプトに掲げ、「未知なる深海から遥かなる宇宙へ、いのちを巡る壮大な旅」をテーマとした展示を展開しています。

メインショーの「いのちの始まり、いのちの未来～JOURNEY TO LIFE」が映し出されるのは、床から天井まで高さ９mのダイナミックな曲面LEDスクリーン。深海から宇宙まで、時空を超えて巡る旅の中で、火星の地表から地下へと向かうバーティカルシャトルの映像が、感動的なオリジナル楽曲と臨場感あふれる演出と融合し、特別な没入感を生み出します。ぜひご来館ください。

三菱未来館内のエレベーター、エスカレーター
来館者が館内を安全・安心・快適に移動できるように設置。エレベーターはユニバーサルデザインで設計するなど、車椅子で来館するお客さまのご利用に配慮している

詳細は
「三菱未来館」
公式サイトを
ご覧ください。

いいね！▶大阪の名物＆逸品

本場イタリアから直輸入、こだわりの「ジェラート」

ローマにあるジェラート専門店の日本１号店が提供。直輸入する厳選素材を使って、本場ならではの濃厚なジェラートを再現しています。イタリア産のピスタチオやドライいちじくなどに加えて、旬の日本産食材を利用したフレーバーも人気です。（撮影協力／FLOR GELATO ITALIANO OSAKA）

ホルモンが深い味わいの大阪名物「油かすうどん」

「油かす」とは、ホルモンを油でじっくり揚げてから油分を抜いたもので、大阪では「かす」とも呼ばれます。うどんに入れると、モツならではの濃厚なうま味がつゆに溶け出し、何とも言えない深い味わい。油かすは意外にも軟らかい食感で、口の中で優しくほぐれていきます。（撮影協力／松屋難波店）

大阪名物「おこし」が進化した「pon pon coco」

大阪土産の定番、「岩おこし」「粟おこし」のあみだ池大黒が開発しました。伝統の職人技で作ったおこしに、ミルクチョコやイチゴ、抹茶やスパイスカレーなど、さまざまな素材をキャラメリゼ。カリッ、サクッとした軽い食感がうれしく、ついつい手が止まらなくなります。（撮影協力／pon pon Ja ponルクアイーレ店）

とぼけた容器にほっこりする「はにわぷりん」

古墳から蘇ったはにわたちが、プリンを詰めてもらった……。そんなイメージを再現したユニークなスイーツです。なめらかな食感が舌に優しく、卵をたっぷり使ったカスタードのほか、抹茶やチョコ風味なども人気。食べた後、とぼけた顔の容器はインテリアに使えます。（撮影協力／Pasah）

「お好み」の味が楽しめる大阪のソウルフード「お好み焼」

大阪人のソウルフード「お好み焼き」のルーツは、薄く伸ばした生地の上に具材を乗せ、返して焼く「洋食焼き」。戦後、具材を生地に混ぜてから焼くスタイルが広まり、今のお好み焼きにつながりました。具材は豚肉やイカ、油かす、キムチ、チーズ、餅など、店によって異なり、まさに「お好み」です。（写真提供／大阪観光局）

ゆるキャラ「ちょろけん」が雑貨やお菓子に

大きな張り子をかぶって、舌をペロッと出し、頭にはシャッポ。江戸時代に大阪で流行し、今はゆるキャラとして人気の「ちょろけん」が、手ぬぐいや巾着といった雑貨、けんぴなどの食品と楽しくコラボしました。前田製薬との「あたり前田のクラッカー」たこ焼き味も要チェック。（撮影協力／一創堂）

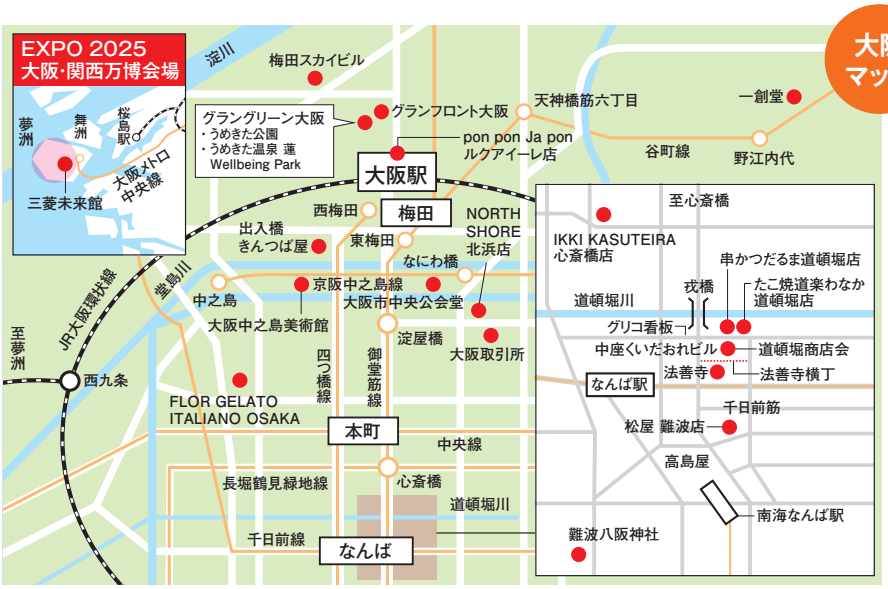
読者プレゼント

思わず顔がほころぶかわいさの「ちょろけんトート」

なにわの元祖ゆるキャラ「ちょろけん」を前面にプリントしたトートバッグです。素材は風合いの良いコットン100%で、A4ファイルがちょうど横向きに入るサイズ。色は生成り、カラシから５名様に（色は選べません）。（協力／一創堂）

巻末のとじ込みはがきからご応募ください。

大阪マップ



※トラベル・スケッチ「大阪」のオフショット集をご覧いただけます。
当社ホームページ（【三菱電機ビルソリューションズ フィーカ】で検索）の「広報誌 Fika!」でご覧ください。

毎　日　元　気　に　！

快眠習慣

寝不足や不眠は、生活習慣病や心の不調につながります。
今すぐできる快眠習慣を身に付け、
睡眠の悩みを解消しましょう。

第6回 ･･･ 解決します！

「早く目覚めてしまう」

運動と就寝時間の調整で起床時間をコントロール

起きたい時間よりも早く目覚めてしまったら、「もう少し眠れるといいのに」と、がっかりしてしまうかもしれません。ただ、もっと長く眠りたいからと努めて早寝をしても、結局は早く起きてしまうことになります。無理に長く眠ろうとせず、睡眠の質を高めながら起床時間を遅らせましょう。

睡眠は、前半に成長ホルモンが増えてぐっすり眠り、後半にコルチゾールというホルモンが分泌されてスッキリ起きられるしくみになっています。年齢を重ねたり、昼間に運動しなくなったりして成長ホルモンが減ると、コルチゾール分泌のタイミングが早まり、起きる準備が早く整ってしまいます。これが、早く起きてしまう理由です。

成長ホルモンを増やすには、起床11時間後を目安にスクワットを10回程度行ったり、5秒ほどお尻をギュッとしめて緩める動きを3回行ったりするなどして、背中や骨盤内の筋肉を増やす運動をします。

そのうえで、就寝を30分程度遅らせてみましょう。目覚める時間を少し遅らせることができたら、4日間同じ時間に就寝し、その後はさらに30分就寝を遅らせます。これを繰り返し、起きたい時間付近で目覚められるようになったら、その就寝時間を維持します。就寝時間前に強い眠気がくるようになった時点で、今度は就寝時間を30分早めてみます。起きたい時間まで眠れて睡眠時間が延びれば、満足度が上がるはずです。

菅原 洋平（すがわら ようへい）
作業療法士。1978年青森県生まれ。国際医療福祉大学卒業。国立病院機構にて脳のリハビリテーションに従事したのち、クリニックで睡眠外来を担当する傍ら、生体リズムや脳の仕組みを活用した研修を全国で行っている。著書に『あなたの人生を変える睡眠の法則2.0』（自由国民社）、『「めんどくさい」が消える脳の使い方』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）などがある。

ドローンで人生を変える！技術と情熱を次世代につなぐ

風を読み、光を捉え、空をかける――
磨き抜かれた技術と揺るぎない情熱で唯一無二の映像を撮るドローンパイロット、請川博一。
数々のCM、TV番組を手がけてきた空撮のパイオニアが語る、
仕事の喜びと次世代への思いとは。（敬称略）

「好き」を極めてドローン撮影のプロに

北海道・旭川市に隣接する美瑛（びえい）町。青く澄んだ空に一機のドローンが浮かぶ。操縦桿を操るのはドローン撮影の第一人者・請川博一だ。強風の中でも彼の機体は流されることなく安定した飛行を続けている。素人目にも、熟練の高度な技であることがわかる。

「通算2万時間ぐらい操縦していますからね。車に乗っているときも、ポケットに手を突っ込んでいるときも自然に親指が動いてる（笑）。きれいな景色を見ると『ここでならこんなふうに撮るといいな』なんて、24時間ドローンのことばかり考えています」

そう語る請川は小学生の頃から大のラジコン好き。パイロットに憧れて飛行機やヘリコプターの操縦に夢中になり、ドローン（産業用無人ラジコンヘリコプター）が発売されたときもいち早く手に入れた。今から30年以上も前のことである。やがて機体にカメラを付けて撮影することを思いつくが、それから20年ほどは空撮では仕事にならず、ドローンによる農薬散布などで稼いでいたという。

ドローンパイロット
請川 博一（うけがわ ひろいち） *Hiroichi Ukegawa*

Profile

1961（昭和36）年、北海道・旭川生まれ。ドローン空撮の第一人者。さまざまな企業のCM撮影やTV番組、官公庁からの依頼を受け、三菱電機ビルソリューションズのショールーム「M's Vision」の展示物の映像も手がける。近年はドローンパイロットの育成にも力を注ぐ。有限会社レイブプロジェクト代表。

▲拠点とする旭川の隣町、美瑛にて。「うまいやつはだいたい田舎にいるんですよ。練習環境がいいからね」と現在でも鍛錬を欠かさない

▲ドローンを操縦するコントローラー。撮影画面はモニターに映るが、ドローンの位置でどんな映像が撮れているかわかる請川はモニターをほとんど見ない

▲カメラが搭載された愛用のドローン。10機を使い分け、常に最高品質の映像を撮影する

「単純に『こんなに楽しいものが流行らないわけがない』と思ったんです。とにかく飛ばすことが好きだし、好きだから続けてきました。ずっとやっているうちに時代の方が変わってきて、空撮のニーズが増えてきたんです」

好きなことを続けて磨かれた彼の技術は、テレビや広告業界でも注目を集めるようになった。NHKのドキュメンタリー番組やCMなど数多くの映像作品に関わり、一時は国内CMにおけるドローン撮影の約7割を手がけた。特にCMの現場では監督のイメージを具現化するのに困難が伴うが、請川は笑顔で語る。

「難易度が高まるほど『どうやったらできるかな?』って考えるのが楽しいんですよ。天気も風も毎回条件が変わって、二度と同じ撮影はないからこそ面白い。太陽が出ているわずか20秒の間に撮らなきゃいけないこともある。しかもただ画(え)が『映っている』だけで、監督の欲しい映像が『撮れて』いない——それではダメなんです。相手が望む映像、時にはそれ以上のものを撮らないとね」

子どもたちの夢をドローンで叶えたい

日本初の空撮の専門会社を設立し、映像業界の第一線で活躍する一方で、現在請川が力を注いでいるのが次世代パイロットの育成だ。

「ドローンを使って社会貢献をするためです。歴史が浅い業界ではありますけど、自分が見つけたことをどうやって伝えて、次につないでいくか。安全・安心、そして日本の法律に則って、いかに良い使い方ができるかが何より重要で、そのためには優れた技術者を養成する必要があるんです」

そのため小学校で出前授業をしたり、地元にある旭川工業高校の部活のドローン部創設に関わったりといった活動を行っている。ドローン部からは教え子が憧れだった国土交通省のテックフォース※に入隊するなど、成果を上げ始めている。

「その子は自分の夢をドローンで現実にしたわけです。だから僕も子どもたちに『ドローンで人生を変えることもできる』と教えています。いつかは子どもたちの『将来なりたい職業』に『ドローンパイロット』が加わるようになるといいですね。30年前は今みたいに誰もがドローンを知っている時代が来るとは思わなかったけど、楽しいから続けて来られた。やってるうちに時代も変わっていく。だから諦めたら終わりなんです」

技術と情熱を翼に、請川の挑戦は続く。

※ 国土交通省の緊急災害対策派遣隊。災害現場での被災状況把握などにドローンが使用される

久住昌之の口福飯

第2回

新潟、うまくもなかった丸ナスの逆襲

夏休み、祖母の田舎飯にはいつもナスが出てきた

父の郷里は新潟だ。今は長岡市に編入された、三島郡和島村という山の中だ。子供の頃はまだ上越新幹線がなく、東京の自宅から祖父の家まで6時間以上かかった。

だからそこに行くのは夏休みの4年に一度。家族で一週間ぐらい泊まる。大きな家に従兄弟たちも集まったので、楽しいことは楽しかったが、ちょっと辛かったのは三度のごはんだ。

何しろ祖母が作る田舎飯。おかずはほぼ煮物だった。厚揚げ、野菜。肉なんてほとんど出ない。何しろ店は車で30分ぐらい行かねば、食堂もスーパーもないのだ。野菜はほとんど庭で採れたものだった。

夏だからとにかくナスが出た。大きな丸いナス。煮たの、蒸したの、焼いたの、漬物、味噌汁。剥いてふかしたのを冷蔵庫で冷やしてポン酢で食べるのは冷たいから好きだった。

とはいえ、小学生にとって毎食ナスばかりじゃタマラナイ。スパゲティもカレーもハンバーグもない。アジフライやコロッケすらない。食が進まずお腹が空いて、おやつに持参したインスタントラーメンを作ってもらって食べたりした。

大人になってわかるずーっと同じもののうまさ

さて、中学校高校時代は部活や受験があって、新潟には父だけが行っていた。

そして二十歳になった頃、祖父が亡くなって、久しぶりに新潟の家を

郷里の丸ナス

文・イラスト／久住昌之（くすみ まさゆき）
漫画家・音楽家。1958年東京都三鷹市生まれ。1981年、泉晴紀とのコンビ「泉昌之」として漫画家デビュー。
以降、漫画執筆・原作、デザイナー、ミュージシャンとして活躍。谷口ジローとの共著『孤独のグルメ』（扶桑社）、
水沢悦子との共著『花のスボラ飯』（秋田書店）のほか、『麦ソーダの東京絵日記』（扶桑社）など著書多数。

訪ねた。周囲は変わらぬ低い山と田んぼ。葬儀は自宅で行われ、村の人もお坊さんもたくさん来た。

告別式が終わると、子供たち（もう大人だけど）は二階でビールでもジュースでも飲んでなさい、と言われた。

久しぶりに会った従兄弟たちと話すのは楽しかった。最初はヒソヒソ話していたが、ビールの酔いもあり、どんどん笑い声が大きくなった。とうとう悪ノリしたボクが「棺桶の中のおじいちゃんの顔真似」というのをやったら、年上の従姉妹までして「だめ！　やめて！」と涙を流して笑った。笑っちゃいけないから余計おかしいのだ。

そしたら下から階段を上がってくる足音がして「こりゃあ怒られるぞ」とみんなからだを固くしたら、襖が開いて近所のおばさんが「これでもつまんでて」と、漬物や煮物を持ってきてくれた。小学生の時食べた料理がそのまま大皿にのっている。

丸いナス。懐かしい冷やしたふかしナスもある。このうちじゃ、ずーっとこんなの食べ続けてたのか。なんて若いボクは思って、ナスの漬物をひと切れ食べて、驚愕。

「う、うますぎる！」

みずみずしいナスが、浅漬けになっていて、歯ごたえも味も香りもすばらしい。しかし、確かにこの味だ。舌が覚えている。

一瞬脳が困って、その後、

「そうか、大人になるってこういうことか」

と初めて思った。子供の頃、たいしてうまくもないと思って毎日ひと切れふた切れ食べていた漬物が、同じ味のまま口の中でご馳走に変貌している。こんなことがあるんだ。この時ほど大人になった喜びを感じたことはない。

もちろん子供の時好きだった冷やしふかしナスも懐かしくうまい。大人だからポン酢に擦り生姜も加える。さらにうまい。

切って塩を振っただけのトマト、味噌をつけて齧る太いキュウリもたまらない。ああ、これだけがおかずでごはんが食べられる。子供の俺はバカだった、とまで思った。

窓から青空を乗せた名も無い低山が見え、コップのビールがうまい。ずーっと同じものを作って食べ続けているからこそ生まれるおいしさというのがある。グルメグルメと目を血走らせて走り回っている大人は、いったい何をしているんだろう？

新潟駅のすぐ近く、松﨑屋の糠漬けと栃尾揚げ

祖父母が亡くなると、新潟の家に行く理由がなくなった。新潟に親しみを感じるようになってきたのは、50歳を過ぎて仕事でたびたび行くようになってからだ。何しろ米がうまい。だからおかずがなんでもうまい。もちろん酒もうまい。

ＪＲ新潟駅のすぐ近くに、「松﨑屋」というカウンターだけの小さな居酒屋がある。近年はここで飲むのも楽しみだ。新鮮な日本海の魚は間違いないが、自家製の糠漬けも必ず頼む。こんなにうまいものがわからなかったガキの自分への復讐だ。

さらに栃尾揚げも。祖父の家で出た、肉の代用品みたいな厚揚げ煮が嫌いだった。今は大好物。前回はその納豆挟み焼きを頼んだ。熱いところに醤油をたらし、新潟の地酒と食べるシアワセはたとえようもない。

そうだ、新潟は枝豆も日本一の生産量を誇るのだ。茹で上げの新潟茶豆で冷えたビール、てぇのもたまらないなぁ。

糠漬け（著者撮影）

栃尾揚げの納豆挟み焼き（著者撮影）

DATA

松﨑屋
新潟県新潟市中央区東大通1-6-9
☎ 080（1732）7276
営業時間／17時～24時
定休日／日曜日＆不定期（SNSで告知）
X（@matsuzaki_817）

日本の神様めぐり

日本には八百万（やおよろず）の神々がいるといわれます。
神様研究第一人者の平藤喜久子氏のナビゲートで
日本の神様をめぐります。

第6回

子育てに関わる神さま

花の窟（三重県熊野市）／著者撮影

火の神を生んで亡くなったイザナミ 熊野灘で子とともに祀られる

子どもが成長し、一緒に遊べること。それは決して当たり前のことではありません。かつて出産は、母子ともに今以上に大変な危険を伴う命がけのものでした。無事に生まれても乳幼児の死亡率は高く、「七歳までは神の子」とも言われていました。だからこそ、妊娠中は安産祈願をし、無事に誕生したら初宮詣をして神に感謝を伝えてきました。七五三のお祝いも、子どもの成長を神に願い、感謝する思いから生まれたものなのでしょう。

イザナミは、神話の中で最初に出産をした神様です。イザナキとの間に、日本の島々を生み、さらに海の神、山の神、風の神、野の神などの自然界も生み出していきます。まさに偉大な母神といえますが、火の神カグツチの出産で亡くなってしまいます。火そのものを体から生み出して大やけどを負ったイザナミは、苦しみながら命を落とします。神話が語る最初の死です。夫のイザナキは、妻の死をもたらしたカグツチを許せず、切り殺しました。火は、私たちの暮らしにとって欠かせないものですが、一方で危険なものでもあります。神話は、そのことを伝えているのかもしれません。たくさんの子どもを産み、私たちの暮らす世界をつくったイザナミは、まさに子育ての神といえましょう。

イザナミの墓とされているところは複数ありますが、日本書紀には火の神を生んで亡くなると「紀伊国の熊野の有馬村」に葬られ、土地の人は、女神を祀るときには花を供え、歌舞をしたとあります。その場所は、現在の三重県熊野市の花の窟神社と伝えられます。墓所とされる「花の窟」は、熊野灘に面した巨大な岩。神の宿る磐座です。そこにはカグツチもともに祀られています。

偉大な母神は、この巨岩のようにどっしりとして、自分の生み出した世界で育つ子どもたちを見つめているようです。

子を思う母の気持ちあふれるトヨタマビメの神話の風景

神話には、さまざまな母たちが登場します。なかには子育てをほかの神に託したのに、今では安産や子どもの成育を願われる神もいます。それは海の女神トヨタマビメです。彼女の夫はアマテラスの子孫であるホオリ。山幸彦の名で知られています。山幸彦は、兄の海幸彦から借りた釣り針をなくしてしまい、海の世界に探しに出かけ、海の神の娘トヨタマビメと出会います。二人は結ばれ、海の中でしばらく幸せに暮らしますが、山幸彦は釣り針を返しに戻らなければなりません。

地上に戻った山幸彦のもとにトヨタマビメがやってきて、子どもが生まれそうだと伝えます。出産をするとき、トヨタマビメは山幸彦に「子を産むときには、元の国の姿になりますから、決してその間、私の姿を見ないでください」と言います。不思議に思った山幸彦が覗くと、そこには出産で苦しむワニ（サメのこと）の姿が。夫に見られたことを知ったトヨタマビメは、もう夫婦のままではいられないと、生まれたばかりのウガヤフキアエズを置いて海の世界へと戻ってしまいました。そして、妹のタマヨリビメを子どもの養育にと送ってきます。

トヨタマビメが出産をした場所と伝えられるのは、宮崎県日南市にある鵜戸神宮の洞窟です。珍しい下り参道を海に向かって歩いていくと、朱塗りの本殿が立つ洞窟があり、その奥には清水を滴らせる岩が天井から垂れ下がっています。「お乳岩」と呼ばれており、トヨタマビメが子どものために自分の乳房を引きちぎって洞窟の天井につけていったとか。その洞窟近くの海をのぞきこむと「霊石亀石」という亀に似た形の岩があります。

トヨタマビメを運んだ亀が変じたものと言われています。子どもを置いて去らなければならなかった母が、子どもの様子を見に送ったのでしょうか。神話は、去っていったあとのトヨタマビメの話は伝えていませんが、トヨタマビメの神話の風景は、子どもの成長を思う母の気持ちであふれているように感じられます。

鵜戸神宮（宮崎県日南市）／著者撮影

平藤 喜久子

ひらふじ　きくこ

1972年山形県生まれ。國學院大學神道文化学部教授。専門は神話学。特に日本の神話がどのように読まれ、扱われてきたかについての研究を行っている。『日本の神様解剖図鑑』（エクスナレッジ）、『神話でたどる日本の神々』（筑摩書房）など著書多数。

未来への挑戦

▶特別編

三菱電機ビルソリューションズ株式会社は「技術革新へのひたむきな挑戦と、人と社会に寄り添った価値の提供により、ビル・都市空間における人々の豊かな暮らしに貢献します」を企業理念としています。

「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」
共生社会の実現を目指す社員参加の社会貢献活動

手の自由を失った画家たちが口や足に絵筆をとり、精魂を込めて描いた作品を展示する「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」。「口と足で描く芸術家協会」の協力を得て、共生社会の実現に向けた社員参加の活動として全国各地で開催している。運営に携わるコーポレートコミュニケーション部の平岡美緒に開催の意義や経緯、今後の展開などを聞いた。

2025年度
「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」
「教育センター（東京都小平市）」にて開催（５月16日～18日）
通常コーナーの50作品に加えて、30カ国・地域からの約30作品を展示する特別コーナーを設け、計約80作品を展示。地域の居住者や小学生などを中心に620人が来場した。口と足で描く芸術家協会所属の森田真千子さん、古小路浩典さんによる実演も行われた。

コーポレートコミュニケーション部
平岡（ひらおか） 美緒（みお）

初回から30年余りの歴史 約83万人が来場

絵画展は１９９２年の初回以来、全国各地で開催し、延べ２９５回開催、来場者数は約82万９０００人に上る（２０２５年５月時点）。

始まりは当社の研修施設である教育センター（東京都小平市）に掲示する絵を探していた社員が、「口と足で描く芸術家協会（以下、協会）」に所属する画家の絵画に出合い、大きな衝撃と感銘を受けたことによる。「見た人に気づきや感動をお届けできる」と確信し、作品を購入して教育センターに展示。その後、感動の輪を広げたいとの思いから、全国各地で「絵画展 口と足で表現する世界の芸術家たち」を開催してきた。

初回から30年余りを経て、約８００点の作品を当社は所蔵する。教育センターをはじめ、全国の支社・支店が主体となり絵画展を企画・運営している。

活動の意義について担当の平岡は「作品を通して画家のひたむきな情熱と命の輝きを感じていただくことで、この絵画展が障がいのある方々と社会との架け橋となり、共生社会づくりの一助となればとの思いで活動しています。絵画展当日の運営は当社とグループ会社の社員やその家族がボランティアで行っており、私たちの視野を広げることにもつながっています。これは、さまざまな方が日々利用するビルに携わる私たちにとって大切なことです」と語る。

つうⅢ

つうⅠ

つうⅡ

今年度の展示作品より、足で描かれた
民話「夕鶴」がテーマの三部作 浦田愛子作

[絵画展に寄せて] 森田真千子さん

「私は1994年のほぼ最初から全国各地の会場で作品の展示だけでなく、実演もさせていただいています。三菱電機ビルソリューションズの皆さまや鑑賞されたお客さまから社会性や絵画制作方法等を教えていただき、また人前で描くことによって障がいがあってもありのままに生きていっていいんだという自信につながりました。絵画展がこれからも人々の心をつないでいってくれるよう願っています」

口と足で描く芸術家協会

世界の口や足で描く画家たちが自立と助け合いを目指して1956年に設立。2025年現在、世界69の国や地域で約740名の手の自由を失った画家が所属している（日本は18名）。画家が描いた絵を絵葉書、カレンダー、文房具などのグッズとして販売するほか、奨学金制度なども設け、世界各国で画家として自立を目指す障がい者の支援、教育などを目的に活動を行っている。
https://www.mfpashop.com/view/page/about

活動発祥の地である教育センターでは長年継続して開催していることから近隣にリピーターが多く、地域に根差した活動にもなっている。コロナ禍後に再開した時には、開催を喜ぶ声が多く寄せられ、社員ボランティアの励みになったという。

毎回50作品を展示 来場者に配慮した会場づくり

毎年度、当社が所蔵する作品と協会から貸与される新作を織り交ぜながら50作品を選び全国で展示しており、この選定に平岡は汗をかく。「油彩、水彩などの画法、口、足など描く方法、風景画、人物画などジャンルの違い、国籍、国内の作品の場合は地域、過去の展示歴などさまざまな面からバランスのとれた展示構成を考えます。素晴らしい作品ばかりで、絞り込むのに苦慮します」と言う。

ほかにも、協会から派遣される実演画家との段取りや、ポスターやチラシ、リーフレット、作品札等の制作など、開催前の準備を着々と進める。

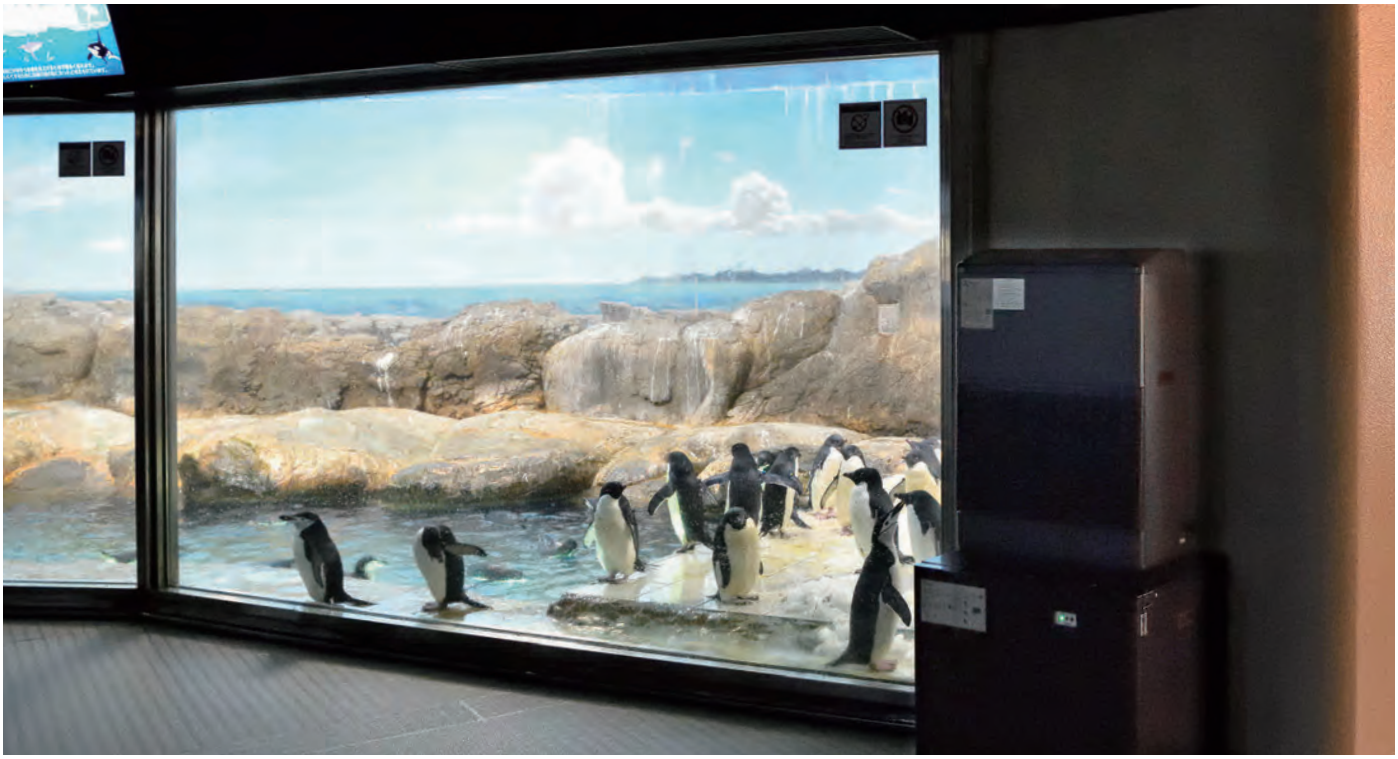
絵画の展示は作品の中心を床から1・35mと少し低めの高さに統一し、車椅子利用者や子どもが観賞しやすい位置に設置するなど来場者に配慮した会場設営を行っている。

絵の力は万国共通 海外にも伝えたい絵画展の魅力

どの開催地でも、口や足で描かれたとは思えない繊細な作品に来場者から驚きの声が上がる。「大変な苦労がある中で、打ち込むものを見つけて素晴らしい作品を創造するパワーに感動した」「自分も何かできるんじゃないかと思った」といった感想が多く聞かれる。

初めて作品を観た人が歓声を上げる瞬間に立ち会えると、「『よしっ』とガッツポーズをしたくなります」と平岡はやりがいを感じる。開催地によっては、海外からの来場者もあり、「絵の力は万国共通。国境を越えて感動を共有できることを実感します」と語る。

今後の目標について、「より多くの人にこうした画家の存在を知っていただき、作品を見ていただくことを大切にしながら、社内外にファンを増やしていきたい。とくに若い世代や海外の人にも魅力が伝わる絵画展を目指していきたい」と未来への想いを語った。



▲海獣館ペンギン展示場。除湿機の設置により結露を解消、来場者が観覧しやすい快適な環境を実現した

◀年間約100万人の来場者が訪れるアドベンチャーワールド（入場口）

Customer's Voice
カスタマー・ボイス

アドベンチャーワールドさま

テーマパークの空調設備導入・遠隔監視・メンテナンス

24時間365日 人間（ひと）と動物の安全・安心・快適な環境を支える

「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」
をテーマに掲げるアドベンチャーワールド。
約120種1600頭の動物が生き生きと暮らす複合型テーマパークで、
動物たちと来場者の安全・安心・快適な環境を支える取り組みについて
マイスター課セクションマネージャーの中田忠幸氏に伺いました。

株式会社アワーズ　白浜事業所
統轄部　マイスター課
セクションマネージャー
中田（なかた） 忠幸（ただゆき） 氏

概　　要　**アドベンチャーワールド**
所 在 地　和歌山県西牟婁郡白浜町堅田2399番地
開 園 日　1978年4月22日
事業内容　動物園、水族館、遊園地の経営
主な動物展示
ペンギン、アシカなどの海獣類、
草食動物、肉食動物、猛禽類、霊長類など

納入設備　コンデンシングユニット、ターボ冷凍機、製氷機、
エレベーター、オーロラビジョン、
ビルマルチエアコン、除湿機など

設備管理全般を統括
安全で正常な毎日が続くために

広大な敷地にサファリワールド、マリンワールドなどの施設があり、多種多様な陸・海の動物との触れ合いを楽しめるのがアドベンチャーワールドの魅力です。イルカやアシカのショー、ナイトサファリなどのアトラクションも人気で、大人から子供まで一日中楽しめます。

「たくさんの動物が生き生きと暮らしており、間近での触れ合いを楽しめる施設です。等しく親しみ、多くの動物たちのファンになっていただけたらと思います」と中田氏は語ります。

プレイゾーンには数々の遊戯施設がありますが、それらの設備全般の管理・運営を統括しているのがマイスター課です。中田氏は飼育スタッフとしての豊富な経験を生かして、現在は設備管理の面から動物たちが安全・安心・快適に過ごせる環境の保全に努めています。

「当園はエデュテインメント※1を意識し、動物たちとの触れ合いを大切にしています。その前提として園内が安全で、正常な毎日が続くことが大切で、その予防保全に力を注いでいます」と中田氏。

園内のヒヤリハット事案の共有や実際に危険箇所を見つけた場合は即座に修繕対応を行っており、雷や台風などによる停電に備えて、パートナー企業とともに設備の24時間監視や緊急対応ができる体制を整えています。

来場者、動物たちがともに
快適に過ごせる環境を提供

アドベンチャーワールドはペンギンの飼育数が日本一で、8種類約500羽を飼育しています。繁殖にも力を入れており、2022年には展示場一角の「ペンギン王国」を繁殖研究施設の「ペンギンベース」にリノベーションしました。

この工事では三菱電機ビルソリューションズが建物の改修の一部や冷凍機の増設などに携わりました。また、海獣館では天井のスケルトン化※2や空調機フィルターに自動昇降機能を採用することで、スタッフが安全で容易にメンテナンスできるように改修しました。

ペンギン展示場では、特殊仕様のユニットクーラーの設置により展示場内温度を0～5℃に保つほか、ターボ冷凍機等の導入で海水温度

▲海獣館の天井はメンテナンスしやすいようにスケルトン化し、観覧を考慮して黒に塗り、空調機も黒の塗装を施した

▲ペンギンベース。より大きなコロニー（繁殖群）形成のため、飼育エリアの陸地面積が以前の約2倍となり、室内空調機、冷凍機設置で0～5℃の温度設定が可能になった（写真提供／アドベンチャーワールド）

◀海水や糞尿の影響が大きいペンギン展示場のユニットクーラーは特殊仕様を施して天井に設置。耐用年数を延ばし、ペンギンたちがより快適に過ごせる環境を提供

※1 Edutainment。教育（Education）と娯楽（Entertainment）を組み合わせたコンテンツのこと
※2 天井板を外すなどして建物の骨組みが見える状態にすること

▲「Glimmering Hill（きらめく丘）」。約5000本の竹を使った巨大アート。パンダが食べる竹と里山の放置竹林を有効活用する「パンダバンブープロジェクト」から誕生した

▲６月28日に中国への返還が決まったジャイアントパンダ４頭のうち「楓浜（ふうひん）」。パンダが快適な環境で暮らすための「パンダラブ」や「ブリーディングセンター」の空調設備のメンテナンスを行っていた（2025年４月撮影）

◀アドベンチャーワールドのsmile創造に寄与したパートナー企業をスタッフの投票で決める「ベストパートナー賞」を三菱電機ビルソリューションズが受賞（2022年、設備トラブル対応などへの貢献により受賞）

▲生海水処理槽。近くの海から海水1,000tを毎日汲み上げ、生物ろ過（牡蠣殻等）を施す。常時クリーンな海水を動物たちに供給するライフラインの役割を果たしている（写真提供／アドベンチャーワールド）

は９～10℃の環境が保持されています。また、製氷機を設置し、展示場の天井から定期的に氷が降り注ぐ仕組みなども導入し、ペンギンにとってより快適な環境を提供しています。

２０２４年には三菱電機製の除湿機を導入しました。以前は展示場内の湿気により観覧窓に結露が発生し、ペンギンを観覧する際の視界が悪く、観覧通路も水浸しになるといった課題がありました。

「除湿機の設置で結露が解消され、ご来場者も快適な環境で、ペンギンたちが快適に過ごす様子を観察いただけるようになりました」と中田氏は導入効果を語ります。

マイスター課の責任と誇り 技術を伝承し後継者を育成

アドベンチャーワールドでは、主要な施設の空調設備などを三菱電機ビルソリューションズの情報センターで24時間365日遠隔監視しています。異常が発生した際には担当者の携帯に自動で異常信号が届き、迅速に対応できる体制が構築されています。

中田氏は「停電などの非常時においても、担当者が時間や場所を問わず駆けつけてくれるのが心強い」と語ります。

「園内の動物たちのライフラインを守り、施設全体の安全・安心・快適な環境を維持するというマイスター課の業務は、責任も大きいですが、誇りをもって携われる仕事です」と言う中田氏。将来に向けては「技術の伝承を通してマイスター課の仕事の魅力ややりがいを伝え、後継者の育成に努めたい」と語ります。

「人間と動物と自然とのSmileあふれる世界の実現」を目指すアドベンチャーワールド。マイスター課は動物たちが生き生きと過ごし、来場者も快適に過ごせる環境を守り続けています。

担当者からのメッセージ

三菱電機ビルソリューションズ
関西支社　和歌山支店
白浜営業所　所長
龍野 真一

アドベンチャーワールドさまとは長年のお付き合いで、お困りごとの解決を通じて共に成長させていただいた、大切なお客さまです。ご要望に対して、「できません」と言ったらそこで終わりです。まずはやってみるという信念のもと、持てる技術やネットワークを活用して日々発生する課題の解決に取り組んでいます。海獣館の除湿機設置のように、来場者がより快適に過ごせる環境づくりに貢献できたことは大きな喜びです。これからも地域に密着し、お客さまに寄り添ったサービスを提供してまいります。

「く～るリモートメンテナンス（クラウド）」空調冷熱総合管理システム「AE-CZJ」「EW-CZJ」を利用した遠隔管理サービスに拡充

空調冷熱設備の遠隔管理サービス「く～るリモートメンテナンス※1」は、2023年からクラウドサーバー接続による「く～るリモートメンテナンス（クラウド）」を商品ラインナップに加えて販売しています。

2025年5月には、「く～るリモートメンテナンス（クラウド）」に、空調冷熱総合管理システム「AE-CZJ」または「EW-CZJ」を新たに監視装置として利用できるようラインナップの拡充を図りました。

空調冷熱総合管理システム「AE-CZJ」「EW-CZJ」の特長として、従来、遠隔管理サービスを開始するために必要であった遠隔監視接続用デバイスやLTE通信端末の設置工事および配線工事が一切不要となり、SIMカードを取り付けるだけで、お手軽にご契約いただけるようになりました。

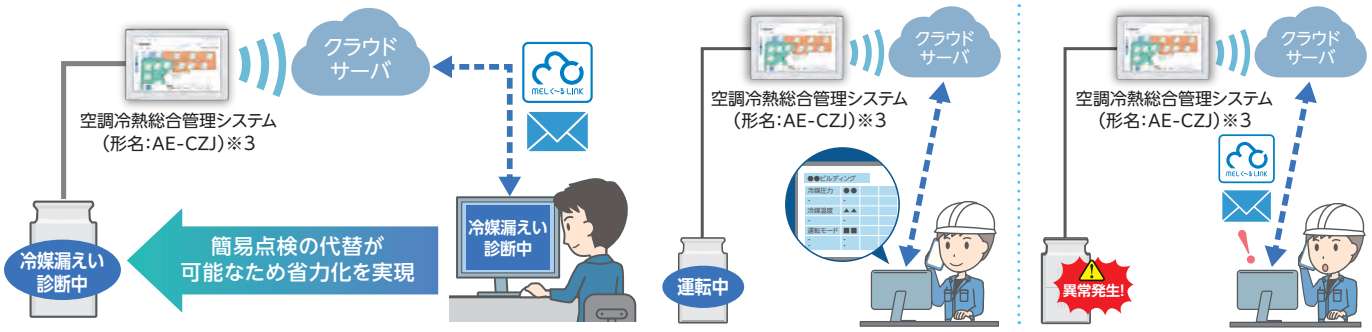
また、オプション契約を選択いただくことで、三菱電機㈱が提供するサービス支援ツール「MELく～るLINK※2」の機能である①異常通知・データ閲覧、②冷媒漏えい診断・簡易点検、③安全装置回路点検サポート（R32冷媒対応ビル用マルチエアコン用）をご利用いただくことが可能となり、さらにお客さまの空調冷熱機器管理業務の負荷軽減に貢献します。

サービス内容の詳細、ご契約に関するお問い合わせは、当社担当者までご相談ください。

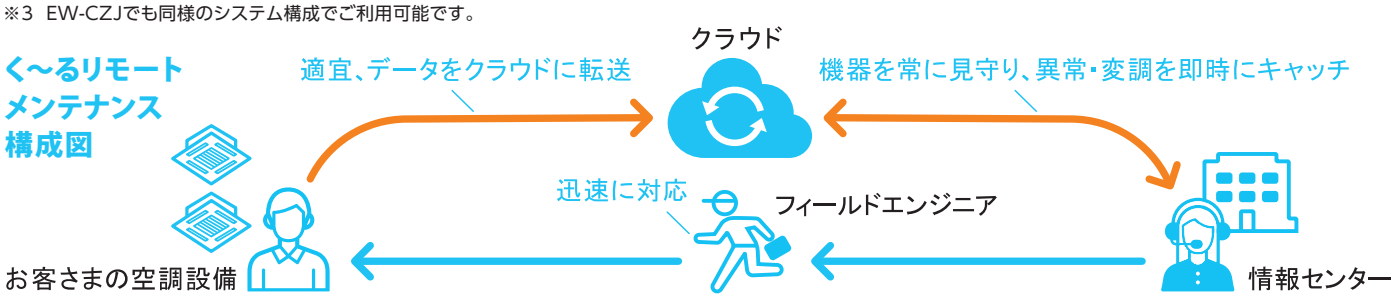
（注）機種により接続できない場合があります。また、接続機種によってはご利用できない機能があります。

※1 く～るリモートメンテナンスは、三菱電機ビルソリューションズ株式会社の登録商標です。

※2 MELく～るLINKは、三菱電機株式会社の登録商標です。



※3 EW-CZJでも同様のシステム構成でご利用可能です。



蛍光ランプの製造・輸出入が禁止に

2023年に開催された「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」にて、2027年末までに一般照明用蛍光ランプの製造、および輸出入を禁止することが合意されました。

すでに蛍光灯用照明器具は多くの製品が製造を終了しており、蛍光ランプも製造終了後は入手が困難になることが想定されます。

エレベーターでは、かご内天井等に使用されており、期限間際には駆け込み需要も予想されるため、ぜひこの機会にLED照明への交換をご検討ください。

ご検討の際は弊社担当者までご相談ください。

- 製造終了後は蛍光ランプの**入手が困難**に
- 蛍光灯用照明器具の**多くがすでに製造終了**
- 期限間際には**駆け込み需要**が予想されるため**前広な計画**を

※上記イメージは一例です。カゴ内天井照明以外にも使用されている場合があります。

お客さまからのお便り

伝言板

今回のテーマ

私の暑さ対策

札幌でも必要になったクーラー

40年前まで、札幌では真夏でもクーラーの必要はなく、窓を開けて寝ていました。現在は30℃ぐらいまでは首に保冷剤を着け、30℃以上になるとクーラーをつけています。

（北海道・北川さん）

サ活で心も体も整います！

サウナに入ると汗をかきやすくなり、体温上昇を抑えて暑熱順化（体が暑さに慣れること）を促すので、夏バテ対策に効果的です。さらに、水風呂と外気浴を続けてクールダウンすれば、心も体も整います！上がった後のビールも最高です。

（福島県・大竹さん）

見た目にも涼しい色の服装を選ぶ

朝、庭に水をまき、すだれをかけて直射日光を避け、首に冷感タオルを巻くのが私の日課です。服装は赤や黄色を避けて、ブルーやグリーンなどの見た目に涼しそうな色を着るようにしています。

（東京都・岩田さん）

辛い物を食べて汗をかく

私の暑さ対策は、辛い物を食べてたくさん汗をかくことです！　夫と子どもは辛い物が苦手なので、私だけの対策なのですが……。

（神奈川県・久文さん）

ドライヤーの時間を短縮できる髪型

ドライヤーをかける時間が短く済むようなヘアスタイルに変えるだけで、湯上がりの暑さを軽減することに成功しました。

（長野県・長谷部さん）

長袖長ズボンのサテンのパジャマ

エアコンをつけて寝ると寝冷えが気になりますが、エアコンの設定温度を上げると汗びっしょりに……。そんなとき、サテンのパジャマなら長袖長ズボンでもスッキリ過ごせます。

（京都府・佐藤さん）

湯上がりに川床で感じる爽やかな風

私の暑さ対策は、温泉の湯上がりに川床で涼むことです。山口県の長門湯本温泉には川床があり、熱い湯に入った後、パラソルの下の川床で冷たい飲み物をいただくことができます。爽やかな風が通り過ぎ、心地よいひと時を味わえます！

（山口県・木村さん）

すだれや緑のカーテンで日光を遮断

直射日光は、部屋の外部で遮断します。窓の外のすだれやルーバーは効果的で、ネットを張って朝顔やゴーヤ、キュウリを植えておけば、見て楽しめるだけでなく、（朝顔以外は）食べて体を冷やすこともできます。

（長崎県・本多さん）

ビルや施設などの設備についてご相談・ご要望などがございましたら、とじ込みはがきにご記入の上、お送りください。

Fika! Vol.14 2025 SUMMER

本誌名「Fika!」は「お茶をする（スウェーデン語）」という意味です。お茶と一緒に本誌を手に取って一息ついていただけたら幸いです。

表紙写真

梅田のシンボル「テッド・イベール」

近年、再開発によって、大きく変わりつつあるJR大阪駅周辺。水都大阪をイメージした「うめきた広場」は駅と直結する複合商業施設「グランフロント大阪」の目の前にあります。広場の一角に座る緑色のクマ「テッド・イベール」はフランスの現代アーティスト、ファブリス・イベールの作品。リラックスした姿勢で、口から水を吹き出す様子が見られます。（撮影協力／グランフロント大阪）

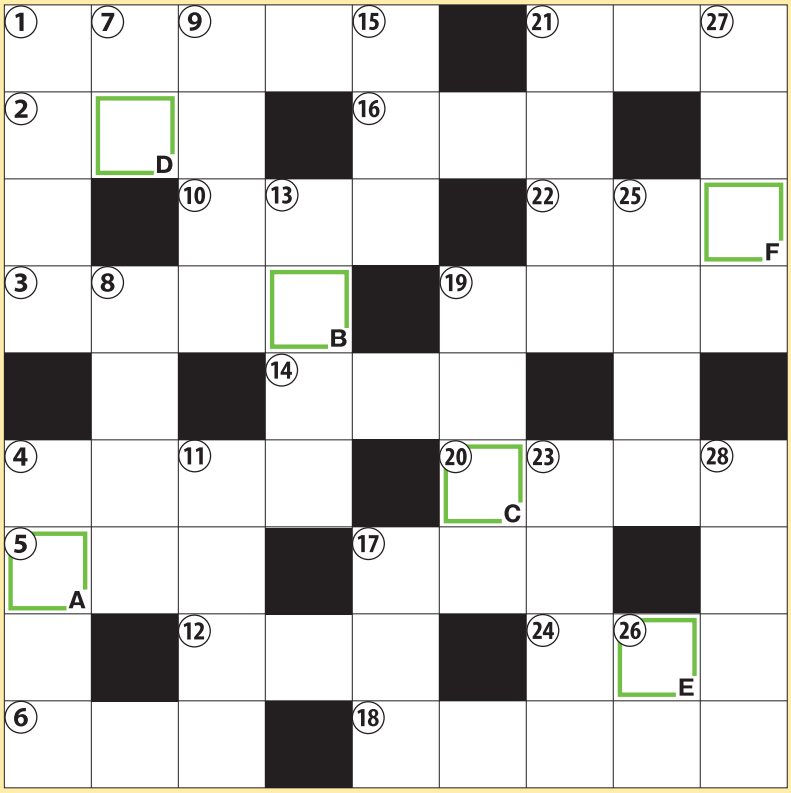
Contents

トラベル・スケッチ　大阪 …… 2
毎日元気に！ 快眠習慣 …… 9
ザ・スペシャリスト …… 10
　ドローンパイロット 請川博一さん
久住昌之の口福飯 …… 12
日本の神様めぐり …… 14
未来への挑戦 …… 16
カスタマー・ボイス …… 18
　テーマパークの空調設備導入・
　遠隔監視・メンテナンス
NEWS …… 21
伝言板 …… 22
クロスワードパズル …… 23
二十四節気 日本の風物詩 …… 24

「Fika!」の最新号が
当社公式WEBサイトでも閲覧できます。
https://www.MEBS.co.jp/fika/

※写真はイメージです

CROSS WORD PUZZLE



ヒント

○○○○○○○

派手な看板がある大阪の繁華街

解き方

ヨコとタテのカギを参考にして、マス目に単語を書き入れていきます。
二重ワク内の文字を、ABC 順に並べると、一つの言葉が現れます。

ヨコのカギ

1　奥さんをとても大事にする人
2　窓を開けて空気の入れ換え
3　遠くの景色がゆらゆら揺れて見える現象
4　ジャングルのこと
5　＿＿球場は屋根付きの球場
6　住宅＿＿、自動車＿＿、教育＿＿
10　ビリから1位に＿＿抜き
12　自分で自分をほめる、自画＿＿
14　蚊取り線香から一筋立ちのぼる
16　国保は国民健康＿＿の略称
17　料理に甘みを加え、照りを出す調味料
18　日本料理に用いる器
19　フランス発祥のクリーミーな煮込み料理
20　小形のアワビのような巻き貝
21　真剣な表情
22　百害あって＿＿なし
24　将来に対する期待や明るい見通し

タテのカギ

1　各国要人をもてなす、迎賓館＿＿離宮
4　注目すべき点、ハイライト
7　アウトの反対
8　野球でダブルプレーのこと
9　この間。先般。＿＿お願いしました件
11　運転席と客席との間に仕切りがある、大型の高級乗用車
13　＿＿家として知られる植村直己
15　先祖代々伝わる、わが家のお宝
17　その土地の伝説や昔話など
19　最後に「ん」がつくと負ける言葉遊び
21　もしもの場合。＿＿何かあったら連絡を
23　推理や判断などのよりどころ
25　練り歯磨きの容器といえば
26　企画、原稿などを採用しないこと
27　＿＿ワンとは、ただ一つであること
28　地球の自転＿＿はおよそ24時間

『Fika!』Vol.13 クロスワードパズル 解答

正解
メガネフレーム

オ	ウ	セ	ツ	シ	ツ	■	ハ	ラ
ヤ	■	イ	カ	■	ガ	ソ	リ	ン
カ	レ	イ	■	ド	イ	ツ	■	ダ
タ	ツ	キ	ユ	ウ	■	ポ	エ	ム
■	ス	■	カ	メ	オ	■	ヌ	■
ネ	ン	シ	■	ダ	ツ	イ	ジ	ヨ
ガ	■	タ	オ	ル	■	シ	ー	ン
エ	ス	エ	フ	■	シ	ヨ	■	リ
リ	シ	■	ダ	イ	コ	ク	テ	ン

応募要項

★本誌とじ込みハガキに解答をご記入の上お送りください。
★正解は次号で発表します。
★正解者の中から抽選で30名様に図書カードを進呈します。
★当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
★「伝言板」もご記入ください。掲載された方には図書カードを進呈します。

応募締切
2025年8月31日（日）
［当日消印有効］

本誌の送付に関するご変更は、ご担当地域の事業所、もしくは本誌とじ込みハガキでご連絡をお願いいたします。

オクラ

二十四節気 日本の風物詩

第17回

久保 修の切り絵の世界

夏至（げし）「オクラ」

一年でもっとも日が長く、夏の盛りへと移り変わる頃。昔から、夏にネバネバする野菜を食べると元気になると言われている。

その代表格のオクラを調理中、包丁で切った断面の面白さに、思わず手を止める。

オクラをいろいろな角度で切っては並べ、スケッチして出来上がった作品だ。スケッチ後は、もちろんおいしくいただいた。

オクラは、とてもきれいな淡黄色の花を咲かせるので、今度はその清楚な花も一緒に描いてみたいと思う。

（にじゅうしせっき）
二十四節気
1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けた二十四の暦の言葉。

撮影:タカオカ邦彦

切り絵画家
KUBO Shu

大学の建築科在学中に切り絵を始める。ニューヨーク、スペイン、ポルトガルなど海外各地で切り絵を通じて日本文化を伝える活動を行う。日米桜寄贈100周年記念事業（2012年）においてニューヨーク/エンパイアステートビルで展示会。国内外における個展開催、作品集の出版多数。2018年久保修切り絵ミュージアムオープン（大阪府豊中市）。2019年山口県文化功労賞受賞、文化庁長官表彰、2024年外務大臣表彰を受ける。2025年7月19日から8月31日まで、青森県東奥日報新町ビルNew'sホールにて展覧会開催。

エレベーター・エスカレーターの
紙の作業報告書をWeb報告書にしませんか?
詳細&申込はコチラ
https://pages.mebs.co.jp/form_ElvWebService_Letter_Web.html

4月1日に当社WEBサイトをリニューアルし、URLも新しくなりました。
当社の事業や取り組みを、わかりやすくご紹介しています。ぜひご覧ください。
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
https://www.MEBS.co.jp/

Fuka! 夏号（通巻14号）2025年7月1日発行
発行責任者・小林智里　編集制作・ダイヤモンド社

VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C106044
この冊子はFSC®認証紙を使用しています